サステナビリティ ・2026.10.30

女性活躍から「創造性を発揮する組織づくり」へ「女性イキイキ指数」をアップデート

株式会社丸井グループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長：青井 浩）は、2013年度より運用している独自指標「女性イキイキ指数」を刷新し、2030年度に向けた新たな指標を設定しました。

このたび「自分の強みを活かしてチャレンジしている女性の割合」と「自分の『好き』を仕事に活かせている女性の割合」を新たに設定し、インパクトKPIと共通する「フロー」（※）の視点を取り入れることで、経営戦略と一体となった指標へとアップデートしました。

今後は女性活躍の推進にとどまらず、社員一人ひとりが自らの強みや「好き」を活かして挑戦し、新たな価値を創造できる組織づくりをめざしてまいります。

（※）「フロー」…自分の強みを活かし、夢中で仕事に取り組めている状態。当社がインパクトKPIとして開示している指標

■新たな「女性イキイキ指数」

今回のアップデートでは、一人ひとりの創造性の発揮につながる状態を可視化するため、以下の2つの指標を新たに設定しました。

新設した指標

・自分の強みを活かしてチャレンジしている女性の割合

・自分の「好き」を仕事に活かせている女性の割合

丸井グループは、一人ひとりが自らの強みや「好き」を活かして挑戦することが、新たな価値の創造につながると考えています。

これらの指標を通じて、女性活躍そのものをゴールとするのではなく、社員一人ひとりが強みや「好き」を活かして挑戦し、創造性を発揮できている状態を継続的に可視化してまいります。

女性イキイキ指数（26年度～30年度）	25年度	30年度（目標）
「男性は仕事、女性は家事育児」という性別役割分担意識を見直すことに、共感する人の割合	54%	70%
男性の育休取得率100%の維持	100%	100%
男性の育休3か月以上取得率	43%	70%
家庭における男性の家事・育児の分担割合	29%	35%
「強みを活かしてチャレンジしている」女性の割合	55%	80%
「自分の『好き』を仕事に活かせている」女性の割合	61%	75%
女性の上位職志向	57%	70%
男性の上位職志向	75%	85%
女性リーダー比率	41%	50%
意思決定層に占める女性の割合	22%	30%

■女性活躍から「創造性を発揮する組織づくり」へ

丸井グループは、「すべての人が『しあわせ』を感じられるインクルーシブな社会を共に創る」をミッションに掲げています。

社会やお客さまの価値観が多様化する中、社会課題の解決と企業の成長を両立するためには、多様な人材がそれぞれの強みや個性を活かしながら、新たな価値を生み出し続けることが重要だと考えています。

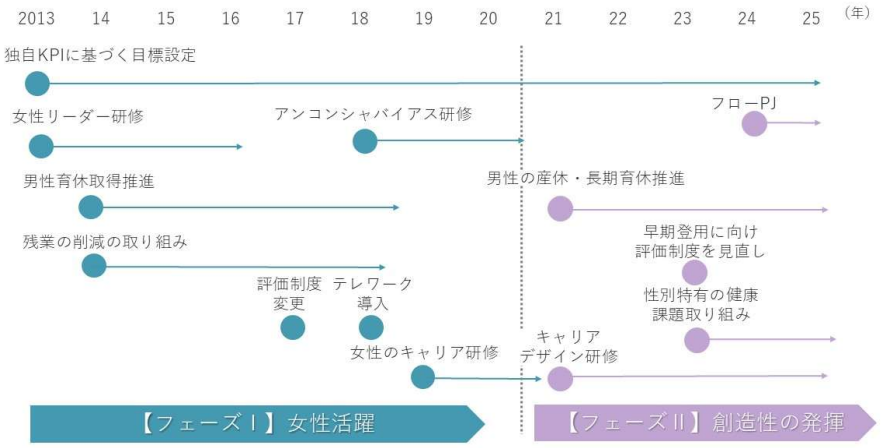
その実現に向け、当社では企業文化変革に向けた8つの施策の一つとして、「男女」「年代」「個人」の3つのテーマで「多様性の推進」に取り組んできました。中でも「男女」の多様性では、女性活躍を重要なテーマと位置づけ、2013年度には「女性イキイキ指数」を導入し、女性活躍の推進や働きやすい環境づくりに継続的に取り組んできました。

「女性イキイキ指数」は、女性活躍に関する取り組みの進捗や成果を可視化するための独自指標です。導入以来、男性育児休業取得率100%の定着や意思決定層への女性登用の進展など、さまざまな成果につながっており、多様な人材が活躍できる企業文化の醸成を後押ししてきました。

一方で、これからの時代に求められるのは、女性の活躍にとどまらず、一人ひとりが自らの強みや「好き」を活かして挑戦し、創造性を発揮できる組織づくりです。

そこで今回、「女性イキイキ指数」を、創造性を発揮する組織づくりの進捗を測る指標へと進化させました。

取り組みの変遷



■成果と課題を踏まえ、次のステージへ

2013年度に「女性イキイキ指数」を導入し、女性活躍の推進や働きやすい環境づくりを進めてきました。

その結果、2025年度は設定した8項目のうち6項目（うち1項目は当初目標を達成）で目標を達成し、男性育児休業取得率は2018年度以降8年連続で100％を維持しています。また、意思決定層への女性登用も着実に進んでいます。

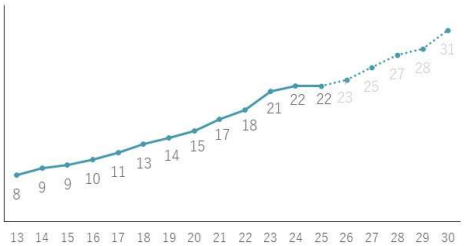
一方で、「家庭における男性の家事・育児の分担割合」や「女性の上位職志向」など、一部の指標には課題も残っており、これらの指標は新たな指数にも引き継ぎ、2030年度の目標達成に向けて継続して取り組みます。

また、男性の育児休業については、「1か月以上の取得率」が目標を大きく上回ったことを踏まえ、新たな指数では「3か月以上取得率」へと水準を引き上げ、家庭での家事・育児の分担につながる長期取得を推進します。

男女の多様性推進の取り組みの成果

「意思決定層の多様化」を目的に推進した「働きやすさ」は、13年で大きく進捗

■ 意思決定層に占める女性の割合（過年度※今後の予測含む）



	25年度	25年度（目標）	目標差	評価
「男性は仕事、女性は家事育児」という性別役割分担意識を見直すことに、共感する人の割合	54	50	+4	○
男性の育休取得率100%の維持	100	100	±0	○
男性の産休取得率（産後8週以内）	100	95	+5	○
男性の育休1か月以上取得率	96	70	+26	○
家庭における男性の家事・育児の分担割合	29	35	▲6	×
女性の上位職志向	57	75	▲18	×
女性リーダー比率	41	40	+1	○
意思決定層に占める女性の割合	22	25	▲3	△

※評価：○…達成、△…当初目標は達成、引き上げ後の目標には未達、×…未達

■今後について

丸井グループは今後も「女性イキイキ指数」の継続的な開示と改善を進めながら、一人ひとりが強みや「好き」を活かして挑戦できる組織づくりを推進してまいります。

今回新たに設定した「自分の強みを活かしてチャレンジしている女性の割合」と「自分の『好き』を仕事に活かせている女性の割合」は、創造性を発揮できる組織づくりの進捗を可視化する指標として運用してまいります。

社員一人ひとりの創造性の発揮を通じて新たな価値を創造し、すべての人が「しあわせ」を感じられるインクルーシブな社会の実現をめざしてまいります。

■丸井グループの概要

商号：株式会社 丸井グループ

本社所在地：〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2

代表電話：03（3384）0101

URL：https://www.0101maruigroup.co.jp

代表取締役社長：青井 浩

おもな関連会社：(株)エポスカード、(株)丸井、(株)エムアンドシーシステム　ほか

本件に関するお問い合わせ先

株式会社丸井グループ 広報室

TEL：03(3384)0101（大代表）10:00～18:00（水・日を除く）　Mail：koho-media@0101.co.jp